

日本の起業家がアジアの社会的課題に挑戦！
 「国際協力・ソーシャルビジネス アジアカンファレンス 2016」

11月19日(土)10時より市ヶ谷にて開催

主催：特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン
 後援：外務省、中小企業庁、行政法人国際協力機構
 (JICA)、国際機関日本アセアンセンター



恵まれない環境下の青少年の自立支援を行う特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン（東京都目黒区/理事長：中村八千代）は、日本とアジアの継続的な共生社会の実現を目指し、アジアの社会課題にビジネスで挑戦する若手社会起業家の創出・育成・サポートを加速させるカンファレンスを JICA 地球ひろば（市ヶ谷）にて開催します。

■イベントの見どころ

アジアでは GDP 伸び率が 5.7%（2016 年アジア開発銀行調べ）を誇る一方、貧富の格差や階級格差などの様々な社会課題が依然として残り、かつ現地特有の法律、国民性、商慣習などが障壁となって参入や収益化の難しい領域となっています。今回はロールモデルとして既に現地で活躍する日本の社会起業家を招き、事業の紹介や情報を共有するほか、来場者の関心のステージに合わせた充実したイベントもご用意しています。

① 基調講演

社会起業家 中村八千代の講演のほか、フィリピンのレストラン「ユニカセ」（社会的企業）で

働く 貧困下で育った青少年（※）も登壇。

自らも働く社会的ビジネスの現場のリアルな声を伝えます。

（※）Rhea Delos Reyes/レア・ドロレス 26 歳

17 歳で父親を失い、貧困にあえいでいるところを現地 NGO で救われる。母と大人数の兄弟の生活を支えるため、6 年前から「ユニカセ」レストランで働き始める。調理や接客、ビジネスマナーやルールを学び、現在ではレストランの Production Manager を勤め、NGO 等他団体への講演指導も行っている。



<パネルディスカッション>

アジアの社会起業家の先駆者たちが、困難を乗り越えた想いや本音を語りあいます。

<Work Shop : 未来をカタチにする>

社会貢献事業を立ち上げたい想いはあるものの明確化できていない方を対象に、国際協力プロジェクトのフレームワークを学びながら、事業アイデアの明確化を行います。

<Pitch Event ; 想いを実現する>

高校生や大学生など公募で選出された社会起業家の卵たちが、アジアや日本国内を対象とした具体的な社会的事業のアイデアを発表。社会起業家、企業のプロたちが課題の可視化や解決方法を具体的にアドバイス。参加者からもサポーターを募り、実現に向けたアイデアの磨き上げと実現への支援を行います。(大学学食から途上国支援、大学生が途上国の有機農作支援 等)

<Communication Space : 社会起業家達と語る>

社会起業家と参加者たちが親しく対話し、質疑応答や互いの想いの共有、課題や今後の展望をより深く語り合い、社会貢献活動や協創の輪を広げます。

■参加社会起業家（掲載写真 左からご紹介しています）

○柳 邦明 氏：2011年インドで日本式スイーツショップ「Iroha」を経営。

(NAGOMI CONSULTING Pvt.Ltd Managing Director 株式会社エルフ商事代表取締役)

○水井 裕 氏：2004年よりフィリピンのココナッツの食品・化粧品・雑貨などの自社ブランド商品を国内百貨店や直営店で販売。レストランへの原料卸、カフェ（大阪）などを手掛ける。

(株式会社ココウェル代表取締役)

○西垣 充 氏：1998年よりミャンマーでリサーチ、ビジネスマッチング、視察手配、会社登記、運営管理など現地進出支援の一括サポートを行うほか、視覚障害者によるマッサージ店を経営。

(JAPAN SAT CONSULTING CO.,LTD. 代表取締役・チーフコンサルタント)

○中村 八千代 氏：2010年よりフィリピンで貧困下の青少年に雇用とビジネス教育の場を提供するレストラン「ユニカセ」を運営。

(ユニカセ・コーポレーション General Manager/特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン理事長)

○高濱 宏至 氏：主にフィリピンの貧困層の子ども達に平等な教育機会を創出するため、日本で使われなくなったパソコンをリユースし届けている。

(NPO 法人 Class for Everyone)

<高濱 宏至 氏の活動例>

2012年、インターネットを使って途上国に平等な教育機会を創出できないかと、NPO 法人 Class for Everyone を創設。スラム街に住む貧困層の子ども達に教育機会を創出するため、4年間でアジア・アフリカ 20ヶ国にリユースパソコン 2300台を届け、現地に住む 2,5万人の子ども達に ICT 教育を行う。今年3月には ANA グループと富士ゼロックス株式会社の協力のもと航空機の貨物スペースを活用した途上国へのパソコン輸送連携を実施するなど、その取り組みは大きく広がっている。

■ イベント概要

日時：2016年11月19日(土) 10:00～17:00 (受付開始 9:30)
場所：JICA 地球ひろば (〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5)
定員：150名 (高校生以上)
参加費：一般 3,000円 学生 1,500円
プログラム：10:00～10:05 開会、開会挨拶 (開場 9:30)
10:05～10:30 基調講演
「国際協力の新しいカタチー社会的企業の挑戦ー」
10:45～11:30 パネルディスカッション
「今を変える、未来が変わるー社会起業家たちの想いー」
(休憩)
14:00～17:00 分科会 (開場 13:30) ※3つのうち1つを選択
1. Workshop
2. Pitch Event
3. Communication Space
17:30～20:00 懇親会

注目！！

成長続くソーシャルビジネス 日本政策金融公庫の融資金額も倍増！

国内のソーシャルビジネスは年々増加し、日本政策金融公庫の関連の融資実績も平成27年度の融資総額は607億円、過去5年で倍増しています。

■ 特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパンについて

ユニカセ・ジャパンは、社会的負の連鎖を自ら断ち切る青少年モデルの育成と創出を目指し、恵まれない環境下の青少年や子どもたちが自立のための努力を続けられるような環境作りの支援を行う国際的なNPO法人です。

(活動例) フィリピンの貧困下の青少年が経済的、精神的な自立ができるようビジネスマナーや各種トレーニング、日本への研修、国際交流、国内教育機関や団体での講演活動、イベントの実施などを行っています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン 広報担当 河村

TEL/FAX：03-6356-4861 E-mail：info@uniquease.net

URL：ユニカセ・ジャパン ホームページ <http://www.uniquease.net/>

本カンファレンス ホームページ https://peraichi.com/landing_pages/view/sbasiaconference2016

国際協力 アジアカンファレンス 2016

